



Harvey Mudd College

—唯一無二な理系のリベラルアーツカレッジ—

ABOUT

LA近郊に位置するClaremont Consortium (Pomona, Pitzer, Claremont McKenna, Scripps, Harvey Mudd)のうち、理系に特化した唯一の大学です。理系と文系の融合はもちろん、一学年250人程度の小さいコミュニティと5Cの大きなコミュニティ、どちらも経験できるのが特徴です。

理念

“Harvey Mudd College seeks to educate engineers, scientists, and mathematicians well versed in all of these areas and in the humanities and the social sciences so that they may assume leadership in their fields with a clear understanding of the impact of their work on society.”

目次

1. About Curriculum (どんな学び?)
2. About Students (学生の雰囲気は?)
3. Being in the U.S. (留学生への支援は?)
4. About Extracurricular (課外活動は?)
5. About Student Life (どんな生活環境?)
6. Good things about Mudd (プチ自慢)
7. One day in Mudd (自分の一日)



1. ABOUT CURRICULUM (どんな学び?)

Harvey MuddではBiology、Chemistry、Computer Science、Engineering、Mathematics、Physicsに加え、Biology and Chemistry、Mathematical and Computational Biology、Computer Science and Mathematics、Mathematics and PhysicsのJoint Majorから専攻を選ぶことができます。もし勉強したい分野が理系中心でありながら上記の専攻に当てはまらない場合はIndividual Program of Studiesという個別の専攻のようなものを申請することもできます。また、文系の専攻を希望する場合は、Off-Campus Majorという形で他の5Cで専攻を選ぶこともできますが、HMCの専攻の中から副専攻を選ばなければいけません。

Harvey MuddのCoreはとても特徴的で、難易度も高いと言われています。Coreは1、2年生が受ける必修科目を指し、分野としてはHMCにおける全ての専攻、そしてHumanitiesの授業を網羅しています。数学を除く全ての教科にラボ体験もあるため、実験や実習を通して学んでいることを体験することができます。

それ以外にHarvey Muddでは文系も重んじているため、卒業条件もそれなりに厳しいです。まず合計で10個以上の授業を受けなければならない上、5つの種類の学問を履修し、うち1つの分野は4個以上授業を取り、10個の授業うち1つはエッセイメインの授業を取らなければなりません。しかし、他の5Cの大学で履修することもできるので、授業の幅が広く、とても楽しいです。

2. ABOUT STUDENTS (学生の雰囲気は?)

学校が小さい分とても仲が良く、教授とも距離が近いです。生徒数が少ない分1人1人がHarvey Muddを作っていくという考えがあるため、全員が重要視されています。理系校では珍しく男女比率が1:1で、ダイバーシティに力を入れているのもあって、人数が少ないのにいろんな人がいて、自分も受け入れられていると感ずることができる点が魅力的だと思います。

理系の小さい学校というと、精鋭主義だと思われがちですが、Harvey Muddでは授業内でも協調性を重んじているため、学問においても助け合いの精神がとても強いです。その延長で先輩方とも交流が多く、勉強についてもそれ以外についてもたくさん相談に乗ってくれます。

また、教授も生徒もお互いを信頼しており、honor codeという考えを元に、生徒が他の学校では考えられない自由や権利をもらえるところもHMCならではのです。

3. BEING IN THE U.S. (留学生への支援は?)

1年生の始めに新入生オリエンテーションの他に留学生オリエンテーションがあり、そこで留学生ならではの悩みや疑問をたくさん解決してくれたり、他の留学生とも知り合うことができます。

勉強の支援は留学生に特化したものはないですが、1年生の授業はほぼ全てAE(Academic Excellence)という週に2回程度その分野を専攻している3年生や4年生が質問に答えてくれる勉強会があります。そこに集まった1年生同士で教え合ったり、課題を一緒に解いたりすることもできます。それ以外にも教授のOffice Hoursで質問を聞くこともできます。自分の都合と合わない時は教授にメールすれば大体時間を空けてくれます。

生活面でのサポートは寮のメンター、サポートグループ等がしてくれます。1年生のオリエンテーションの時にメンターグループに配属され、そのメンターが1年間自分のメンターになります。私が一年生の時は数ヶ月に一度1:1で話し合う決まりで、その時に専攻について等の相談をしました。

HARVEY MUDD COLLEGE

他にも国籍や人種サポートグループがあります。例えば、APISPAMというメンターグループはアジア系の1年生向けで、上級生数名と1年生数名で構成されるメンターグループに配属され、相談をしたり、遊びに行ったりします。このグループに所属することで、上級生だけでなく、授業や寮以外で1年生にも知り合いができます。日本人の留学生が少ないHMCにおいてはこのアジア系のメンターグループは個人的にとってもありがたかったです。

4. ABOUT EXTRACURRICULAR (課外活動は?)

課外活動に関しては、HMC内のサークルと5Cのサークルどちらにも参加できるので、とても幅が広いです。例えば、新聞サークル一つとっても、HMCの新聞(The Muddraker)と7C(5Cに大学院2つを加えた大学群の総称)の新聞(The Student Life)どちらにも参加することができます。

サークル以外に、下級生と交流しながら自分の勉強にもなり、報酬も得ることができる tutoring(grading+tutoring)、TAとしてラボで手伝い、Machine ShopやAEの運営などに関わる上級生が多いです。

5. ABOUT STUDENT LIFE (どんな生活環境?)

寮

North、South、East、West、Sontag、Atwood、Linde、Case、Drinkwardの9つの寮があります。各寮性格が違うと言われていて、例えばEastはゲーマーが多いことで知られています。1年生はアンケートに答えて、その結果で寮とルームメイトが決まります。2年生以上は基本的にRoom Drawというプロセスで寮の部屋が決まります。

食事

COVID前は5Cの食堂であればどこでも利用可能でした。(2021年秋学期についてはまだ詳細は未定です)HMCの食堂(The Hoch)は5Cの中でも美味しいと人気の食堂で、HMC以外の生徒もよく訪れるため、長蛇の列を頻繁に見かけました。Make your own pizzaやWet Burritoなどのメニューが人気です。

Hoch以外ではJay's Placeと呼ばれるピザ屋と、スタバがあります。この二店舗ではスワイプを使うことはできませんが、meal planについてくるClaremont Cashというお金を使うことができます。(もちろん現金も)

周辺の地域:

図書館の隣に文具や食品も売っている本屋と、歩いて15分のところにTrader Joe'sがあるので、急ぎの時もなんとかなります。また、ポモナ大学の外にクレアモントの街があり、HMCから歩いて15分程度で街に出ることができます。クレアモントにはレストランや公共の図書館、映画館等があります。バスまたは車で10分程度でモールやターゲットまで行けるので、不便はあまりありません。LAにはポモナから10分のところに駅があるので、そこから電車で一本で行けます。

6. GOOD THINGS ABOUT MUDD (プチ自慢)

- 先生との距離がとても近い
60人位の講義の授業でも名前を覚えてくれます。
-

HARVEY MUDD COLLEGE

- 気候
ほぼ毎日晴れで暖かいです。
- 5C内で一番のパーティー
Case Singalongなど
- LAとの距離感
近すぎず遠すぎずちょうどいいです。
- 5Cの施設が使い放題
食堂にとどまらず、Honnold Mudd (図書館), Denison Library, Tiernan Field House, Roberts Pavillionなど他の大学の施設も使い放題。特にCMCとScrippsの運動施設はとても新しく、授業外ではCMS(CMC, HMC, Scripps)の生徒しか使えないため、特権です。

7. ONE DAY IN HARVEY MUDD (自分の一日)

- 6:30 起床
- 7:30 朝ごはん@Hoch (スムージーが人気です)
- 8:00 授業開始
- 12:00 お昼ごはん@Hoch (Make your own saladが人気です)
- 1:15 ラボ
- 5:15 ポモナの友達と夜ごはん@Mallott
- 6:45 ポモナの吹奏楽団の練習
- 8:30 図書館で勉強
- 11:00 寮に戻る
- 0:00 就寝



(参考) FIGURES OF MUDD 数字でみるハービーマッド大学

生徒数: 893 (2020年)

生徒対教授の比率: 8:1 (2020年)

専攻数: 10

留学生: 8% (2019年)

男女比: 50:50 (2020年)

サークルの数: 61 (HMCのみ)

大学院進学率: 23% (2020年)

2020年卒初任給の中央値: \$112,500

No. 3 — Top Liberal Arts College (Forbes 2019)

No.1 — Best Career Placement (Princeton Review 2019-20)

No. 3 — Top 75 Best Value Colleges (Princeton Review 2019-20)

No. 8 — Most Accessible Professors (Princeton Review 2019-20)

No. 8 — Students Study the Most (Princeton Review 2019-20)

No. 1 — Highest Mid-Career Salaries (PayScale 2020-21)

No. 1 — Best Schools for Return on Investment (PayScale 2020-21)



著者: 野田奈夏子(のだななこ)。

東京都の広尾学園高等学校を2019年に卒業。Harvey Mudd College Class of 2023。

グルーバンクロフト基金奨学生。CS-Math専攻。

Contact Info: nnoda@hmc.edu